

副市長レビュー（春）協議事項調書

1 部局名 (課名)	財務部 (アセットマネジメント推進課)							
2 協議事項 (案件名)	次期浜松市公共施設等総合管理計画策定方針及び今後の推進体制について							
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> 資産経営の羅針盤として計画され、中間年(2021/4)に指標(充足率)の目標見直しを経て次期計画の策定期を迎える。現時点で目標を上回る実績となり、計画の内容及び目標値の設定は再検討が必要 下位計画である施設分類毎の個別施設計画は策定期から4年以上経過。施設長寿命化や複合化検討が進まないことから記載内容の見直しが必要 							
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> 現計画策定時から10年近く経過し、保有施設の状態やニーズの変化、脱炭素社会、DX化の推進等への新たな対応が必要 充足率算定に用いる将来の改修更新経費の算出方法は、単価更新や建設費高騰などが考慮されていないことから実態に即さず要検討 2016(H28)年度以降、統廃合・複合化・廃止により8年間で96施設のタテモノ資産を削減したものの、事業強化による施設の新設等により93施設が増加。施設マネジメント強化が必要 2023(R5)年度は資産経営推進会議にて次期計画の方向性を報告・協議 2024(R6)年5月に計画案の全庁照会により施設分類毎の個別施設計画との整合を確認 							
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> 全体の構成は総務省通知「公共施設等総合管理計画策定等に関する指針」を踏まえる 基本方針は、社会情勢の変化や他方針・計画との整合性を図り、項目の追加及び再構成を実施 将来改修更新経費の試算方法は見直し、充足率の目標は現状値を採用(R26時点で100%を目指す) 公共建築物長寿命化指針・計画は本計画との関係性が深いことから内容を反映し3月に公表時期を合わせる 統廃合・複合化を推進するため、関係する施設等の所管課と連携した検討体制を確立 							
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)	<p>【妥当性】 計画の考え方、充足率目標、推進体制について妥当か。</p> <p>【スケジュール】</p> <table border="0" data-bbox="403 1668 1463 1787"> <tr> <td>2024/5 素案内容確認(部局照会)</td> <td>2025/2 総務委員会報告</td> </tr> <tr> <td>2024/9 総務委員会報告</td> <td>2025/3 策定・公表</td> </tr> <tr> <td>2024/11 パブリックコメント実施</td> <td></td> </tr> </table>		2024/5 素案内容確認(部局照会)	2025/2 総務委員会報告	2024/9 総務委員会報告	2025/3 策定・公表	2024/11 パブリックコメント実施	
2024/5 素案内容確認(部局照会)	2025/2 総務委員会報告							
2024/9 総務委員会報告	2025/3 策定・公表							
2024/11 パブリックコメント実施								
6 結果	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> サマーレビューで審議 <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他 	<p>具体的内容</p>						
7 その他								